

## R1 年度 翔舞塾 始まりました！

翔舞塾は、土曜日を自立と創造につながる豊かな学びの場として活用するために設置するものです。勉学意欲の醸成と自主的な学習習慣の形成をはかり将来に向けてのキャリアガイダンスの一助とします。

■5月25日の翔舞塾は、英検合格のための特訓と、SDGs 学習『ホテル保全活動』についての学びです。

昨年度までの『自習のみの学校（校舎）開放』は、本年度は実施しませんが、皆さんの経験値や学びの充実を支援すべく多くの計画をしています。可能な限り『参加(単なる出席ではない！)』し、自らのキャリア形成の一助としましょう。

### ■教育実習生の先輩にお話をききました【第1弾】

5月20日から2(3)週間の予定で、本校卒業生の大学4年生の3名が、母校での教育実習を行っています。先輩方の高校時代の様子や進路についてのコメントを載せました。是非、進路を考える上などで、参考にしてください。

#### B大4年 うえのさん HR1-4 教科 英語

中西生の皆さんへ

こんにちは！初めまして。B大から参りました上野 仰（うえの あおぐ）と申します。私は30期生で当時は野球部に所属していました。4年ぶりに母校に戻ってきて感じたことは、4年前とあんまり変わっていないということです。中野西高校の良いところはやはり自由性だと私は考えています。その自由性が中西生の何事にも主体的に取り組む態度を育てているのではないのでしょうか。4年前の私の同級生同様、今の中西生も物事に主体的に取り組んでいる様子を見て良い意味で変わっていないな。そんな印象を受けました。

私は大学生となり4年目を迎えました。大学では、目標を持って入学してくる人や、目標がまだ定まっていない人など、色々な学生がいます。また、経験豊富な先生方もいらっしゃいます。この人達との出会いは自分自身の価値観を大きく広げるとも良い経験になります。今まで見えてこなかった自分のやりたいことが少しずつ形になってくる、これが大学生の特権であり、いちばん良いところだと私は考えています。

もう一つの良いところは、自分の好きなことができることです。私は国際学部の生徒ですが、先生を目指しているため英語教育を専門とする先生のゼミナールに所属しています。ゼミではそのことに対してだけ研究するので専門性を高めることができます。私が所属している国際学部という学部だけでも、国際開発や教育演劇、エコツーリズム、ホテル経営、サービスマネジメントなど様々な専門分野を研究することができます。学部によって専門は異なりますが、自分の興味があることを選択肢から選び、そのことだけ勉強できるのも大学の良いところです。

遅くなりましたが、私は英語の教師を目指しています。しかし実の話をする中学生時代と高校に入って最初の方は英語がとても苦手な生徒でした。中学時代は赤点ばかりで、なぜ英語なんて勉強しないといけないのか、そんなことばかり考えていました。そんな私の転機は、高校2年生の頃担任の先生に半ば強引に連れていかれたオーストラリアでの語学研修でした。その頃は成績をよくするために本文の内容を覚え、文法書を必死に解いており、テストでもそこそこの点数を取っていたので私はコミュニケーションくらい余裕で取れるだろうと楽観していました。しかし現地の英語は聞き取れなく、こちらが話しても全く通じなかったことを今でも鮮明に覚えています。英語という言葉としての本質を見ていなかったためです。その時に文法や単語を知識として覚えるだけでなく、使いながら英語力を伸ばすという言葉の本質も大切だということに気付くことができました。そのためこの実習期間で皆さんと授業の中でたくさん英語を使ってやり取りをしていきたいと考えています。学校生活や大学の話など色々聞きたいことがありましたらいつでも英研に来てください。たくさんの中西生と話せるのを楽しみにしています！

